

### COVID-19 パンデミックが結核対策に及ぼす壊滅的な影響

- 少なくとも、この 5 年間の進展が失われ、新たに 600 万人の結核患者が発生する -

- 結核 (TB) により毎年 150 万人が死亡している、これは他のどの感染症よりも多い。  
結核の罹患率と死亡率は、高結核負担国が結核患者を早期発見し適切な治療を行う対策を強化した結果、ここ数年着実に減少してきた。
- ストップ結核パートナーシップが Imperial College、Avenir Health、Johns Hopkins University、USAID と共同で行ったモデル分析の結果は以下の通りである。
  - COVID-19 に対する厳しい対応は数カ月しか続かないかもしれないが、結核負荷の高い状況では、主に結核の診断と治療に影響を及ぼすことから、結核への持続的な影響がある。
  - 世界的には、3 ヶ月間の社会封鎖（ロックダウン）とそれに続く 10 ヶ月の復旧期間により、**2020 年から 2025 年の間に新たに 630 万人の結核患者が発生し、その間に 140 万人が死亡する可能性がある**。
  - 2021 年の世界の結核罹患率と死亡率は、2013 年から 2016 年の間に見られたレベルまで上昇し、COVID-19 の世界的流行により、結核終息に向けた進捗は少なくとも **5~8 年後退**したことになる。
  - 長期的な成果は、短期的な回復のペースに大きく左右される。
  - 通常の結核サービスに戻るまでにあと 1 ヶ月余計に時間がかかると、インドでは 2020 年から 2025 年の間に 40,685 人が、ケニアでは 1,157 人が、ウクライナでは 137 人が過剰に死亡することになる。
  - 結核への取組みと投資を強化することで、過去数年間に得られた進展を取り戻すためには、未発見の結核患者の累積を減少させる為の追加的措置と対策資金を確保することが重要である。それらの対策には、積極的 patient 発見の強化や、結核を疑わせる症状に気づき対応することの重要性を認識するため、地域社会の積極的な関与、これらと並行して接触者追跡が考えられる。これらにはデジタル技術や他のツールの活用も含まれよう。そしてそれらには結核患者一人一人に対して、質の高い確実な治療とケアを継続的に提供できるようにすることが不可欠である。結核患者の届け出は、このような追加的措置の進捗をモニターするために有効である。
- このモデル研究は、社会封鎖とそれに続く復旧期間の月ごとの結核対策への影響を示した最初の研究である。

- このモデル研究は、結核高蔓延国における COVID-19 に関連した結核サービスの中断に関する [ストップ結核パートナーシップの迅速評価](#)（別紙 1）、インドからのリアルタイムで公開されている結核の届け出データ、および専門家の意見に基づいている。インドは、結核の届出データが公開されている唯一の国であり、これにより結核の診断と治療の変化を迅速かつ客観的に評価し、データに基づく是正措置を行うことができる。
- 2018 年の国連総会（UNGA）では、各国首脳が国連ハイレベル会合において、結核対策を劇的にスケールアップし、結核の減少を加速させ、2030 年までに結核を根絶するという SDG の目標を達成することを約束した。COVID-19 の世界的流行により、結核患者発見が劇的に減少し、治療が遅れ、治療中断のリスクや薬剤耐性結核患者の増加の可能性が増加した為、[UNGA で目指した目標](#)を達成する上で大きな障害となっている。
- [COVID-19 の世界的流行による結核への影響を最小限](#)にし、UNGA 目標達成への軌道に戻る為に、高結核負担国は以下のことを行う必要がある。
  - 封鎖期間中、結核診断、治療、予防サービスの継続のための迅速な措置を採る。
  - 封鎖からの復旧後、結核の積極的な診断、追跡、治療、予防のための大規模なキャッチアップ努力を行う。
- [モデル研究の詳細](#)（別紙 4）については、こちらを参照ください。
- COVID-19 の世界的流行において、ストップ結核パートナーシップは、高結核負担国の指導者に対して、結核サービスの継続を確保し、結核の診断、治療、予防サービスを利用する人々が直面する障害に対処するよう特別な注意を払い、人的資源と資金を確保するよう要請する。
- このモデル研究に含まれている全 3 カ国と、他のいくつかの結核高蔓延国は、COVID-19 の世界的流行の結核対策への影響を限定的なものにするための対策を講じている。
- これは前例のない未踏の領域であることを認識し、ストップ結核パートナーシップは、GDF（Global TB Facility、世界抗結核基金）、TB REACH、コミュニティ（地域社会）の権利とジェンダー、a 4 i プラットフォームを通じて、各国の結核対策計画とパートナーへの支援を続けている。また、結核と COVID-19 の資源へのアクセスを確保するため、ストップ結核パートナーシップは、[結核と COVID-19 専用のウェブページ](#)を通じて、国やパートナーからの活動、経験、提言を共有している。ストップ結核パートナーシップは、各国の結核と COVID-19 の状況を示す [インタラクティブ マップ](#)を発表した。